

# 不思議な光と影の世界を 夏休みの思い出の一つに... ぜひみんな行ってみてください



踏むとライトが点いて階段が鏡の中に現れる仕掛けとか、鼻息の音だけでも発光する音のセンサー付きの電気、じっと見ていると絵や文字が浮かんでくる不思議な絵など、理屈は分からないけれどすごく面白いものがいっぱいありました。僕が中学生くらいで、ホログラムの原理なんか分かれば、夏休みの宿題のヒントになったかな...と思いました。

「キーン」と思いました。1階の光るシルやトレーナーなどを見てから、2階の展示室に行きました。入口の何も映っていないと思っただけなのに、シューシュー湧いてくるヤカンの音が、電動のウチワが風を送るとなぜかビデオのロウソクの炎がゆらめいたり、何で?と思うことがたくさんありました。一番びっくりしたのは、丸いガラスの玉の中のきれいな色の光が、僕たちが手を近づけると引っついてくることです。案内のお姉さんが「これは稲妻と同じような原理なんですけど、手を当てると電気の光が手を通ろうとして近づいてくるんですよ。」と教えてくれて、僕は難しいけれど、きれいな光だ、と思いました。手じゃなくても服や鼻を近づけてもくっついてきたので、「きつと電気が通ります」



狭山市立博物館  
稲荷山1-23-1 ☎955-3804  
8月16・23・27・30日は休館です。

## REPORTER'S EYE



【リポーター】  
牛窪雄大くん・遥香さん  
(小5・小4、水野在住)  
リポーターズアイでは、行政のしくみや話題性のあることから、市内のいろいろな施設などを、市民のかたがリポートします。

皆さんは、夏休みにどこかへ行きましたか。夏休みの思い出は、林間学校や海に行ったことなどたくさんありますが、その中でもちょっと不思議で思い出に残っている体験があります。妹の遥香と一緒に行った、博物館の「遊光館・不思議な光のワンダーランド」です。狭山市の博物館は稲荷山公園のすぐそばにあって、妹と一緒にサッカーをしたり、公園でよく遊びます。博物館の中にもアケボノソウの化石なんかがあって、たまに行く結構楽しいです。入ってすぐにびっくりしたのは、僕たち二人は入館料が無料だったことです。いつも50円払って入るのですが、受付のお姉さんが「そちらの用紙にお名前と学校名を書いて、そのまま入っていいですよ。」と言ってくれたので、僕たち二人は「ラッ



「遊光館・不思議な光のワンダーランド」  
8月31日(火)まで開催中。この期間内は小・中学生の入館料が無料になります。

すいものなら何でもいいんだ。」と気付きました。それから、僕が一番面白かったのは、モグラたたきのように光った棒のボタンを押すゲームです。うまく光を捕まえると音がかわるので、分かりやすいし楽しかったです。妹は、自分の顔や手がたくさん映る大きな万華鏡が気に入ったみたいで、何回も遊んでいました。この展示には「ホログラム」という難しい原理の絵がいくつもありませんでしたが、「平らな絵なのに何で立体になるんだろう。」ととても不思議でした。妹は、ホログラムのドラキュラを「こわい。夢に出てきそう。」なんて言っていたけど、本物みたいに迫力があって僕もびっくりしました。ただでこんなに不思議な世界を見られるなんて、僕たちは小学生でよかったなあと思いました。後で聞いたらこの企画展の開催期間中は中学生も小学生も無料だそうです。このお得で楽しい企画展は、みんなにもぜひ見に行ってもらいたいと思いました。